20 1 29　中部経済新聞

対日進出 東京外が半数

ジェトロ 07年度 支援外国企業まとめ

日本貿易振興機構（ジェトロ）は二十八日、対日進出を支援した外国企業数が二〇〇七年度は前年度比十社増の百二十五社になったと発表した。従来、全体の30―40％程度だった東京以外への進出は六十二社と約半数を占めた。

具体例では、世界三十五カ国に百八十以上の熱処理工場を持つ、英国企業の現地法人「ボディコート・ジャパン」が今年三月、名古屋市に進出。金属塗装などを得意とする。

〇七年度は、こうした欧米の自動車部品会社による愛知、神奈川両県への拠点設立が十三社と全体の一割を占めた。

ジェトロは「好調な日本の自動車メーカーに研究開発段階からアプローチし、受注獲得を目指す外国企業が増えており、今後もこの傾向は続く」（対日ビジネス課）とみている。

ジェトロは対日投資を促進するため、〇三年度から日本に進出する外国企業を法務、税務の無料相談などで支援している。